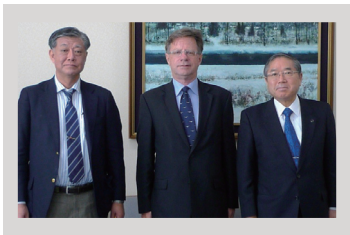


2011.11.1

APRU事務局長が来訪

2011年11月1日、APRU(環太平洋大学協会)事務局長Christopher Tremewan氏が本学を訪れました。東日本大震災を踏まえて、東北大学と連携が可能なAPRUの活動について、井上明久総長と意見交換をしました。また、Tremewan事務局長は、東北大学史料館および魯迅の階段教室を見学しました。APRUは1997年に設立され、事務局はシンガポール国立大学内に置かれています。



2011.11.18

産学官連携 ラウンドテーブルの開催

「産学官連携ラウンドテーブル」は、東北大学の知的財産の有効活用をはじめ、地域の産業経済の成長に向け、宮城県知事、仙台市長、東北経済連合会会長、東北大学総長が意見交換を行う場として2003年にスタート。今回は、「産学官連携による東日本大震災からの産業復興」をテーマに11月18日に開催。各機関からの報告・提案を踏まえ、「東日本大震災からの産業復興に向けた産学官共同宣言」を採択しました。



2012.1.11

東日本大震災アーカイブ 国際合同シンポジウムの開催

東北大学防災科学研究拠点は、東北大学附属図書館、ハーバード大学、総務省との共催により、東日本大震災アーカイブ国際合同シンポジウム「東日本大震災アーカイブの最前線と国境・世代を超えた挑戦」を開催しました。東日本大震災の実態と教訓を後世に伝えるため、被災地内外・国内外・官学民のさまざまなアーカイブプロジェクトが一同に会して、最新の取組み状況を発信し、アーカイブの方向性について議論を行いました。



NEWS - BOX

東北大学の動き

2012.1.27

「国際宇宙ステーションからの メッセージ」の開催

宇宙航空研究開発機構(JAXA)と東北大学は、2012年1月27日に「国際宇宙ステーションからのメッセージ」～宇宙サイエンス in 東北大学～を開催。国際宇宙ステーション(ISS)にクルーとして165日間滞在し、ISS・「きぼう」日本実験棟で科学実験やシステムメンテナンスなどの作業を行った古川聡宇宙飛行士を中心に、そのミッションと「きぼう」実験の成果に関する報告会が行われました。



2012.2.1

国連大学との 共同シンポジウムを開催

東日本大震災後の被災地の復興と世界各地で起こり得る災害に備えて、今後の研究のあり方を見つめ、本学大学院ヒューマンセキュリティプログラムでは、「人間の安全保障」の観点から理解を深め課題に向き合うため、ドイツの国連大学環境・人間の安全保障研究所からヒューマンセキュリティと災害に関する著名な研究者を招き、シンポジウムを実施。講演、ディスカッションなどを行いました。



2012.2.3

「東北マリンサイエンス 拠点シンポジウム」の開催

文部科学省では、東日本大震災で被害を受けた東北沖の海洋生態系を復興させるため、全国の大学の研究者が連携・協力して、総合的に調査研究を行う、「東北マリンサイエンス拠点」の形成を進めています。2011年12月に東北大学を含む海洋生態系の調査研究機関が決まったことから、「東日本大震災が海洋生態系に与えた影響と再生への取組」をテーマにした、シンポジウムを開催しました。

